

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	BACARA 選択サプリメント — R3 試薬
SDS No.	1174
製品番号	423148 R3 – AEB180350
製造元	
会社名	bioMérieux sa
住所	Chemin de l'Orme - 69280 Marcy-l'Etoile – France
電話番号	+(33) 4 78 87 77 51
FAX 番号	+(33) 4 78 87 21 39
Email	csi_marcy@biomerieux.com
会社名 (販売元)	ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー2F
担当部門	薬事部
電話番号	03-6834-2666
緊急時の電話番号	03-6834-2718
FAX 番号	03-6834-2667
Website	http://www.biomerieux.co.jp/
推奨用途及び使用上の制限	試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性	引火性液体 区分 2
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分外 水生環境慢性有害性 区分外
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H225 : 引火性液体および蒸気
H319 : 強い眼刺激
H411 : 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策 P210 : 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。— 禁煙。
P280 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P233 : 容器を密閉しておくこと。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
エタノール	90 - 100	C ₂ H ₅ OH	(2)-202	9-61	64-17-5
その他 (液体)	10 - < 20	特定できない			---

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (別表第9の61) エタノール

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

皮膚刺激が続く場合には、医師の診断、手当てを受けること。

直ちに多量の水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

最も重要な症状及び影響 (急性/遅延性)

この容器もしくはラベルを見せ、直ちに医師の診察を受けること。症状が現れた場合には、医師の手当、診断を受けること。

頭痛。

重度の眼刺激。

症状としては、刺すような痛み、裂傷、発赤、腫脹、かすみ目の可能性がある。

眼及び粘膜への刺激。

鼻や咽頭の刺激。咳。

皮膚の炎症。

発症時に注意すべき事項

適切な治療を行うこと。

症状により遅れて発症する可能性がある。

一般的な情報

気分が悪くなった場合、医師の診断、手当てを受けること (可能であれば製品ラベルを見せること)。

担当医にこの SDS (安全データシート) を見せること。

5. 火災時の措置

消火剤

耐アルコール性泡消火剤。

二酸化炭素 (CO₂)。

小火災の場合、粉末消火剤、二酸化炭素、砂又は土。

(火が拡大する為) 勢いのある水噴霧、棒状注水。

蒸気は空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。

発火源へ到達した蒸気はフラッシュバックのおそれがある。

本製品は電気伝導性が低く、静電気を帯びることがある。十分な電荷が蓄積すると可燃性混合物の発火が起こる可能性がある。

本製品は、正しく接地された容器に充填すると静電気を蓄積する可能性がある。静電気の蓄積は、少量の水分や田の汚染物質の存在下著しく増大する可能性がある。

原材料が浮遊した場合、水表面で発火するおそれがある。

火災時には、健康を害する有害なガスを発生するおそれがある。

火災及び/又は爆発の場合、煙を吸入しないこと。

危険でなければ、火災区域から容器を移動させること。

標準の消火方法を用いる。その他含有される原料の有害性も考慮すること。

使ってはならない消火剤 特有の危険有害性

消火方法及び指示

具体的な消火方法

一般的火災の危険性

引火性液体及び蒸気。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

不要な作業員を遠ざけること。関係者以外は近づけない。

直ちにエリア内すべての着火源を排除すること。－喫煙、フレア、火花、火炎。

後片付けの最中は、適切な保護具及び保護服を着用すること。適切な保護具を着用しない限り、損傷容器又はこぼれた物質に触れないこと。

立ち入る前に、閉鎖域を換気すること。

環境への放出を避ける為、適切な容器を用いること。

多量の流出が考えられる場合、地方自治体に連絡し指示を仰ぐこと。

適切な個人保護具については、8. 「ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照してください。

封じ込め及び浄化の方法・機材

直ちにエリア内すべての着火源を排除すること。－喫煙、フレア、火花、火炎。

木、紙、油等の可燃性物質を流出物質から遠ざけること。

本成分は水質汚濁防止法で水質汚濁物質として分類されている為、土壌汚染や下水/排水システムに侵入を防ぐ措置を講じること。静電気放電に対する安全対策を講じること。

製品はバーミキュライト、砂又は土などの不燃性物質に吸収させ廃棄可能な容器に回収すること。後で廃棄処理する。

製品回収した後、汚染域は水で洗い流すこと。

土、砂又は他の不燃性物質に吸着させ、廃棄可能な容器に移すこと。後で廃棄処置する。

流出物は再利用目的で元の容器に戻さないこと。

廃棄物処理に関しては、「13. 廃棄上の注意」を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

排水溝、水路又は地表面への放出（排出）を避けること。

環境への放出を避ける為、適切な容器を用いること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	<p>使用前に使用説明書を入手すること。</p> <p>蒸気は空気と爆発性の混合物を形成する可能性がある。</p> <p>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。また、このような場所でこの製品を保管、取扱、開封しないこと。</p> <p>直射日光に当てないこと。</p> <p>混触危険性物質、又は引火性及び可燃性物質からのリスクを最小限にすること。</p> <p>静電気放電に対する安全対策を講じること。</p> <p>眼に接触させないこと。</p> <p>長時間の曝露を避けること。</p> <p>十分な換気を行なうこと。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>適切な個人用保護具を着用すること。</p> <p>環境への流出を避けること。排水溝に流さないこと。</p> <p>工場（労働）衛生に影響が及ばないように注意すること。</p>
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

安全な保管条件	<p>熱、火花、裸火から遠ざけて保管すること。</p> <p>発火源を排除すること。</p> <p>直射日光の当たらない、涼しく乾燥した（換気の良い）場所に保管すること。</p> <p>密閉容器に保管すること。</p> <p>換気の良い場所に保管すること。</p> <p>スプリンクラー設備のある場所に保管すること。</p> <p>混触危険性物質から遠ざけて保管すること。（10. 「安定性及び反応性」を参照）</p>
混触禁止物質 容器包装材料	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

	CAS 番号	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
			日本産業衛生学会	ACGIH
エタノール	67-56-1	未設定	未設定	TLV-TWA 1000 ppm

生物学的ばく露指標

設備対策

この成分に対する注意すべき生物学的ばく露指標はない。

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

部分的な換気装置を設置すること。

一般的な換気装置（通常時間当たりの換気回数=10）を使用することがよい。換気速度（効率）は一定であること。

該当する場合、作業場所の密閉や廃棄換気装置等を使用し、空気中の値を推奨する作業ばく露限界以下に保つこと。

作業ばく露限界値が設定されていない場合、空気中の値を許容可能濃度に保つこと。

洗眼器（設備）を設置すること。

保護具

眼/顔の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
手の保護具	ニトリル製の保護手袋を使用すること。
皮膚及び身体の保護具	データなし
呼吸器の保護具	必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。 設置機器等によって空气中濃度が推奨されるべく露限界以下に維持されない場合は承認された呼吸器保護具を着用すること。
熱危険性	データなし

衛生対策

飲食禁止。
取扱い後はよく手を洗うこと。飲食前、喫煙前も手を洗うこと。
汚染された作業衣等は定期的に洗濯し汚染物質を除去すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	データなし
	色	無色透明もしくはほとんど無色
臭い		アルコール性
臭いのしきい（閾）値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		-114.1℃（推定）
沸点、初留点及び沸騰範囲		78.5℃（推定）
引火点		12.8℃（推定）
蒸発率		データなし
燃焼性（固体、気体）		非該当
燃焼又は爆発範囲	下限(%)	データなし
	上限(%)	データなし
蒸気圧		79.06 hPa（推定）
蒸気密度（空気=1）		データなし
相対密度		データなし
溶解度（水）		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		362.78℃（推定）
熱分解温度		データなし
粘度		データなし
密度		0.79 g/cm ³ （推定）
揮発性		90 %（推定）
比重		0.79（推定）
VOC		90 %（推定）

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品は通常の使用、保管、輸送条件下では安定でかつ非反応性である。
化学的安定性	通常取り扱い温度、圧力等の条件下では安定である。
危険有害反応の可能性	危険な重合反応は起こさない。
避けるべき条件	熱、高温の物体、火花、裸火、静電気火花等の着火源を避けること。 引火点を超える温度にさらさないこと。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。

危険有害な分解生成物

危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

ばく露経路情報

吸入	長期に吸入すると有毒であるおそれあり。
皮膚接触	皮膚接触による影響はない。
眼接触	重度の眼刺激性を起こす。
経口摂取	少量飲み込んだ場合、有害の可能性がある。
症状	重度の眼刺激。 ばく露した場合、一時的な刺激、発赤、不快感が発症する可能性がある。

毒性学的効果情報

急性毒性

頭痛。
眼及び粘膜への刺激。症状は、次のとおり；
刺すような痛み、裂傷、発赤、腫脹、かすみ目。
鼻や咽頭への刺激。咳。
皮膚の炎症。

化合物	種別	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
急性 (吸入) LC50	マウス	39 mg/L, 4 Hours
(経口) LD50	ラット	6.2 g/kg

* 製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

皮膚腐食性/刺激性	長時間の皮膚接触は、一時的な刺激を引き起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	重篤な眼刺激を引き起こす。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない
皮膚感作性	この製品で皮膚感作性を起こす可能性はない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。 変異原性又は遺伝毒性を 0.1%以上示すような含有成分データはない為、分類できない。
発がん性	この製品は IARC、ACGIH、NTP 又は OSHA において発がん性物質とみなされていない。
生殖毒性	生殖能障害の可能性はある。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類されていない
慢性的な影響	長期吸入は有害性のおそれあり。

12. 環境影響情報

生態毒性

長期にわたる影響により水生生物に対し有毒である。
水生生物内における蓄積の可能性はある

製品名 :	種別	試験結果
BACARA SELECTIVE SUPPLEMENT		
水生		
甲殻類 EC50	ミジンコ属	7447.2964 mg/L, 48 hours estimated
魚類 LC50	魚	11107.4072 mg/L, 96 hours estimated
化合物	種別	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
水生		
甲殻類 EC50	ミジンコ	7.7 – 11.2 mg/L, 48 hours
魚類 LC50	ファットヘッドミノー	> 100 mg/L, 96 hours

* 製品としての概算 (推測) は、追加成分データに基づく場合がある (図示化してない)。

残留性及び分解性	この製品の分解性として提供できるデータはなし。
生物蓄積性	データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (log Kow)	
エタノール	-0.31
土壤中の移動度	データなし
他の有害影響	この成分からの環境に対するその他の有害影響はなしと推測。 (例：オゾン層破壊の可能性、光化学的オゾン発生の可能性、内 分泌かく乱の可能性または地球温暖化の可能性)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄処理規制	密閉できる容器に収集し、許可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。 当該物質を上下水道に流さないこと。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規制基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器にも製品の残留物が残っている為、容器が空になっても警告等の表示に従うこと。
残留物/未使用製品の廃棄	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規制基準に従うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。(空容器の場合でも、製品がわずかに残留している可能性がある為、原材料及びその容器も安全に処分する必要がある)

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	I M Oの規定に従う。
	UN No.	UN1170
	日本語名	エタノール
	Proper Shipping Name	ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) or ETHANOL SOLUTION (ETHYL ALCOHOL SOLUTION) (ETHANOL)
	Transport hazards class(es)	
	Class	3
	Sub Risk	-
	Packing Group	II
	Environmental hazards	Yes
	Marine Pollutant	
	航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
	UN No.	UN1170
	Proper Shipping Name	ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) or ETHANOL SOLUTION (ETHYL ALCOHOL SOLUTION) (ETHANOL)

	Transport hazards class(es)	
	Class	3
	Sub Risk	-
	Packing Group	II
	Environmental hazards	Yes
国内規制	陸上規制情報	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号 UN No.	1170
	品名	エタノール
	クラス 等級	3
	副次危険性等級	-
	容器等級	II
	海洋汚染物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	1170
	品名	エタノール
	分類、区分番号	3
	副次危険性	-
	等級	2

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（別表第9の61）
	危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
大気汚染防止法	揮発性有機化合物に該当する主な物質
廃棄物処理法	特別管理産業廃棄物（法第2条第5項、施行令第2条の4第1号） （廃油）（引火点70℃未満の消防法引火性液体）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Z類物質）
消防法	第4類引火性液体、アルコール類（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
船舶安全法	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）

16. その他の情報

参考文献	NITE GHS 分類公表データ bioMérieux sa 製品 SDS 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
------	---

改訂理由